記者発表資料

平成２２年１０月２１日
仙台河川国道事務所

災害に備え、阿武隈川の堤防に対空標示の試み
～上空からの視認調査結果の報告～

今後、高い確率で発生が予想されている宮城県沖地震などの災害発生時において、被災した堤防箇所の早期発見を目的に、堤防上（舗装面）に河口からの距離をマーキングした対空標示を試験的に実施しました。（9月24日記者発表済み）

マーキング作業は出張所職員が中心となり、降雨の影響もありましたが28日（火）から着手し30日（木）に完了しました。上空（ヘリコプター）からの視認性の確認調査は10月5日（火）に実施し、下記のような結果を得ることが出来ました。

今後は、作業方法も検討しながら順次事務所管内全体へ展開していきます。

■採用する形状等（別添資料参照）

・文字の大きさ：3m
・文字の色：白
・横断線幅（1km毎と500m毎に入る線）：50cm

国土交通省仙台河川国道事務所が管理する河川は、阿武隈川（宮城県内）、白石川、名取川、広瀬川、笊川の５河川、管理総延長は 73.5km となっております。（堤防の総延長は、左右岸合わせて 108.7km となっております。）

○試験場所：阿武隈川右岸 29.0km ～ 32.0km の 3km 区間
（角田市枝野地内）

＜添付資料＞位置図と視認性調査結果

※発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

問い合わせ先

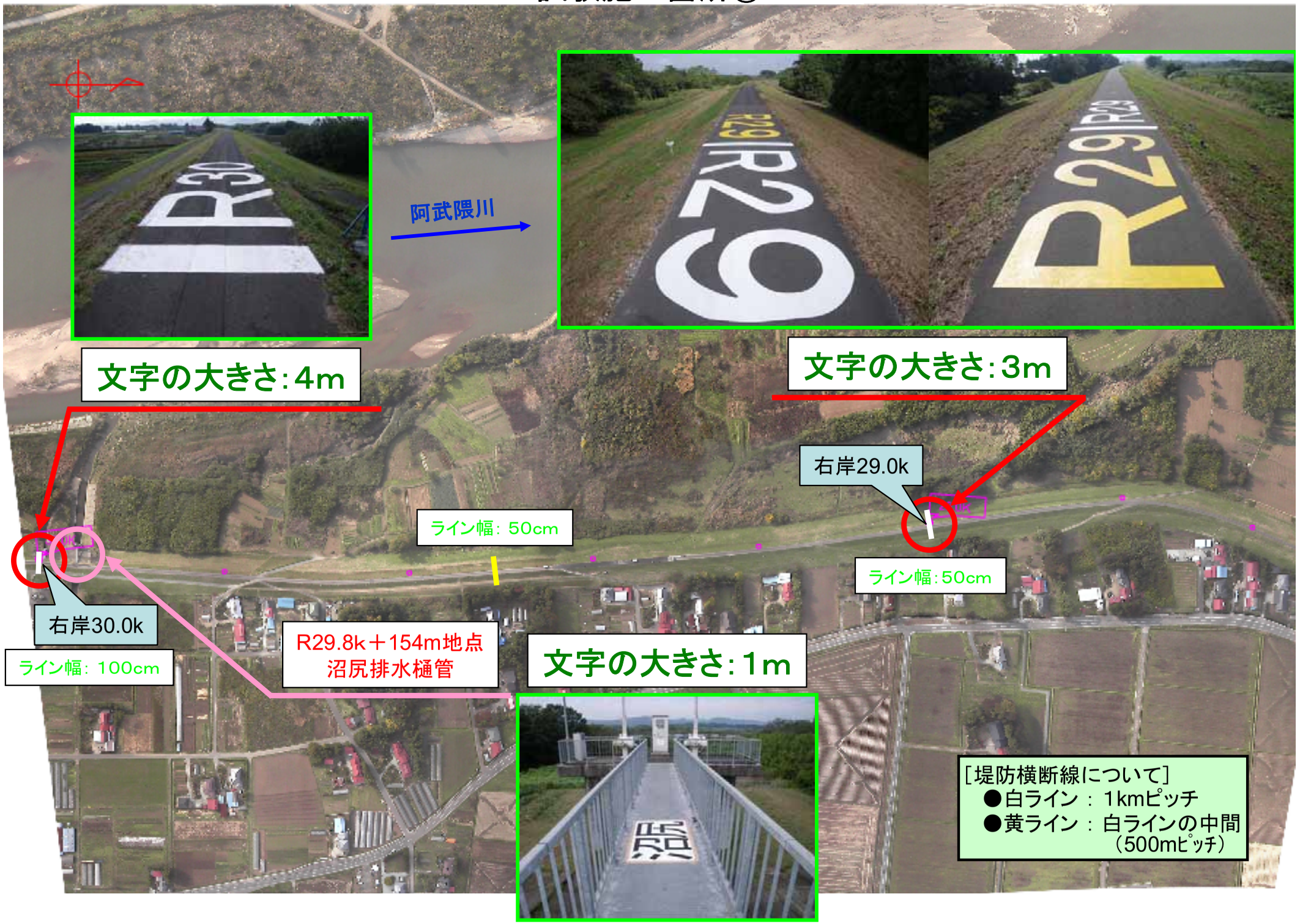
国土交通省　仙台河川国道事務所
仙台市太白区郡山５丁目６－６

河川管理課長	畑山（ハタヤマ）　作栄（サクエイ）	Tel（022）-248-4131
角田出張所長	山中（ヤマナカ）　勇一（ユウイチ）	Tel（0224）-63-2315

阿武隈川における対空標示試験施工位置図



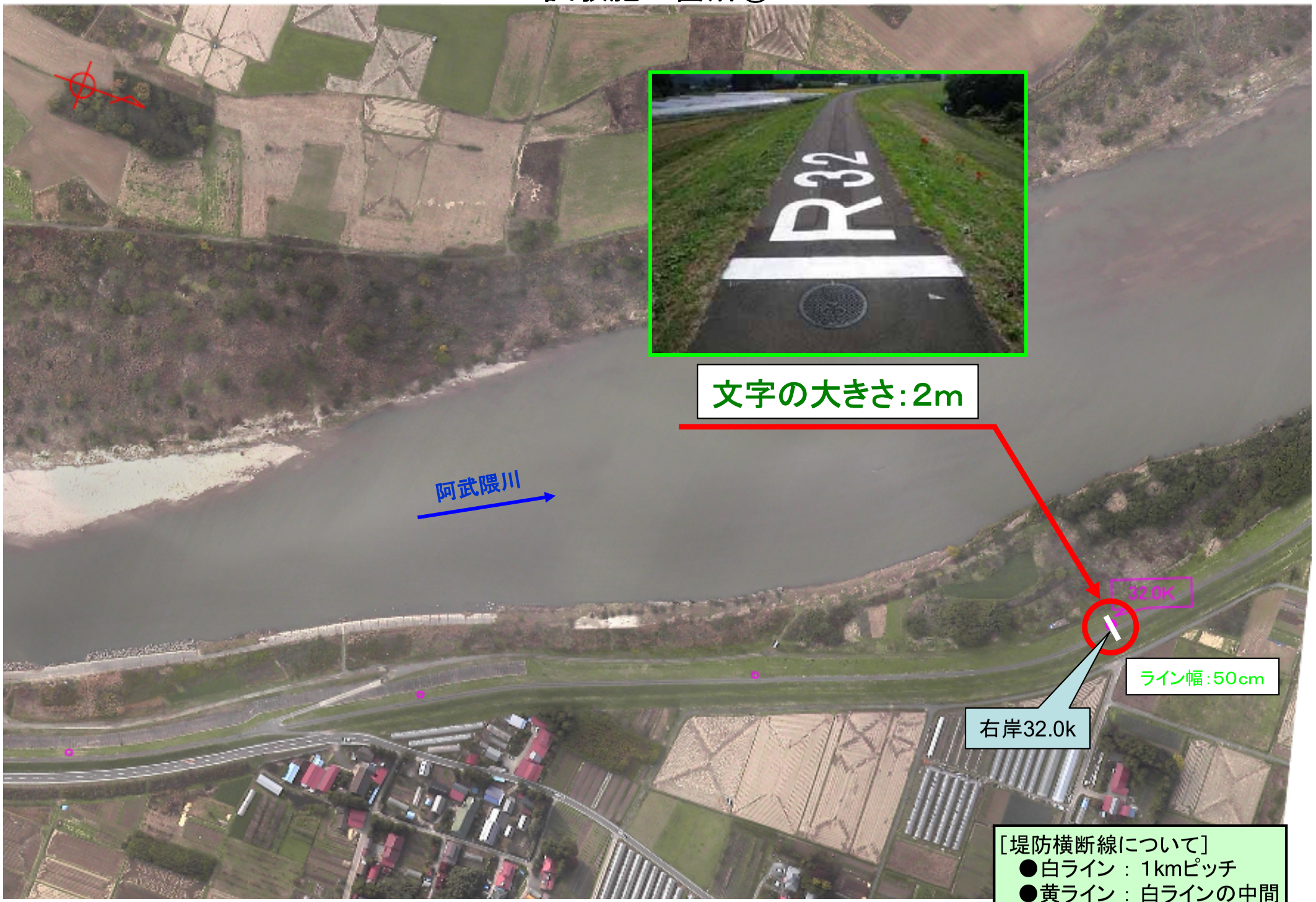
試験施工箇所①


R30
阿武隈川
R29.8
R29
文字の大きさ：4m
文字の大きさ：3m
右岸29.0k
ライン幅：50cm
ライン幅：50cm
右岸30.0k
ライン幅：100cm
R29.8k＋154m地点
沼尻排水樋管
文字の大きさ：1m
沼
［堤防横断線について］
●白ライン：1kmピッチ
●黄ライン：白ラインの中間
（500mピッチ）

試験施工箇所②


阿武隈川
ライン幅：100cm
右岸31.0k
文字の大きさ：4m
ライン幅：100cm
文字の大きさ：5m
右岸30.0k
ライン幅：100cm
[堤防横断線について]
●白ライン ： 1kmピッチ
●黄ライン ： 白ラインの中間
（500mピッチ）

試験施工箇所③


R32
文字の大きさ：2m
阿武隈川
32.0K
ライン幅：50cm
右岸32.0k
［堤防横断線について］
●白ライン： 1kmピッチ
●黄ライン： 白ラインの中間
（500mピッチ）

ヘリコプターによる視認性調査結果

●高度500m[カメラ画像]

※高度500mとは、『災害発生初期段階』時の河川巡視（被災状況確認）実施高度

	文字の大きさ				
	2m[R32]	3m[R29]	4m[R30]	5m[R31]	1m[沼尻]
見え方	△	○	○	○	×
結果		採用			

※樋管名の大きさ　：　1m[沼尻]では視認不可であったため、再検討

	ライン幅	
	50cm	100cm
結果	採用	

	文字色	
	白	黄
結果	採用	

ヘリコプターによる調査結果＜参考資料①＞

●高度500m[カメラ画像]

※高度500mとは、『災害発生初期段階』時の河川巡視（被災状況確認）実施高度









ヘリコプターによる調査結果＜参考資料②＞
【横断線、文字の大きさ1m[沼尻]】



